

## ザンビア通信 vol.3

青年海外協力隊 平成 22 年度 3 次隊

ザンビア 理数科教師 金田直己

ザンビアでは 2011 年 9 月 20 日に大統領選挙がありました。現職の複数政党制民主主義運動(MMD)バンダ氏は 2008 年に前大統領のムワナワサ氏が急死した後、補欠選挙の末に大統領となりました。ムワナワサ氏の残り任期 3 年を満了し今回の選挙に至りました。

アフリカの大統領選挙は荒れる選挙になることがあります。しかしザンビアでは過去の選挙を見ても荒れた選挙にはなっていません。ですが、選挙活動期間中にはある政党の青年団が首都のバスターミナルを占拠したり、青年団同士が衝突し投石や車両破壊などを起こし我々ボランティアは常にその動向に注視する必要がありました。

わたくしが住んでいる北西部州は他の地域と比べると過激な選挙活動が行われる地域ではなく穏やかだと言われていましたが、やはり選挙が近づくにつれて活動も目に余るぐらい見えるようになりました。その代表が選挙ポスターです。至る所に貼られています。電信柱、看板や標識はともかく道路(アスファルトのセンターライン上)にまで貼られていました。一体誰がアスファルト上のポスターを見るのでしょうか?所構わず貼られて正直街は汚いです。こんな選挙活動の仕方をしていたら日本人の感覚からすると悪い印象しか持たれない気がしますがザンビア人にとってみたら効果的なかもしれません。



選挙当日、私の配属先カピジンパンガ小中学校も選挙会場となりました。投票時間は朝 6 時から夕方 6 時まで。朝 6 時 30 分ぐらいに会場の様子を見に行きましたが、15~20 人ぐらいの有権者が並んでいました。ザンビア人は朝が早いです。有権者は事前登録を済ませており(私の地域は 3 月に登録作業を学校で実施していました)会場に

入るとまず住民登録カードを提示します。そして係員が名前などの情報を読み上げると部屋の奥に居る 5 人のスタッフが一齐にその人を台帳から探すという作業があります。アナログ的な作業でとても時間がかかっていました。無事に名前が確認されると投票用紙が渡され晴れて投票作業に入れるシステムです。

大統領選挙と同時に議会選と地方選も行われま



した。右写真のプラスチックの箱が投票箱です。オレンジの蓋が大統領選、赤い蓋が議会選、黒い蓋は地方選用の投票箱になっています。投票箱はクリアケースなので折り方が甘いと誰に投票したか丸見えです。ちなみに手前に写っている赤いキャップにオレンジのベストを着ている人が会場の監督者です。

Photo of Candidate	Name of Candidate	Party Symbol	Party	Mark P.O. No.
	SAMBA Rupun B.		MMD	
	CHIFUMBO Elias C.		NAREP	
	MCHILISA Hakumbi		UPND	
	KANDA Tangya S.		UNIP	
	MAGANGA Ng'andu P.		NMP	
	BILUPA Charles L.		ADD	
	MUYANDA Godfrey K.		ZED	
	MUTESA Frederick		ZED	
	MAMANI Ekan Z.		FDD	
	SATA Michael C.		PF	

投票用紙は左写真のように立候補者の顔写真付きで、投票したい候補者の右端の空欄にチェックを入れます。議会選と地方選の投票用紙も同様の形式になっていました。

ある都市では投票箱が強奪され燃やされたり、翌日には結果を集計所に運ぶ途中の車両が投石の被害に遭うなどした様です。

結果は日本でも報道があったと思いますが、9月23日の未明にアナウンスされ野党の愛国戦線(PF)のサタ氏が勝利しました。アフリカでは選挙による政権交代は珍しいようです。

サタ氏は都市部の票を多く集め、またバンダ氏は地方票を中心に集めました。正式結果アナウンス前から街ではPF支持者によるお祭り騒ぎがあった模様でそれが朝まで続いていたという話です。

わたくしの学校の投票会場での結果は7割以上の有権者がMMDバンダ氏を支持していましたが学校の同僚たちはサタ氏の大統領就任を歓迎しているようです。今後のPFの活動の中には「教育」に力を入れていく事が大きく掲げられているようで、これからどのような変化が起こっていくか個人的にも期待したい所であります。

ちなみに9月20日は選挙の為に全国的にお休みになりましたが、選挙日の前後では生徒がほとんど登校して来ず、この週は全く授業を行うことが出来ませんでした。Grade9(日本の中3生)は11月の前半より高校進学のための国家試験が待ち受けています。残る期間は1ヶ月程しかありません。普段から先生たちが毎日授業をしないという事態に陥っている我が学校なので国家試験が一体どうなることかと心配でなりません。

Vol.4 に続く。